

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	19	学校名	静岡県立沼津西高等学校	校長名	鈴木 康之
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

沼駿地区の歴史ある伝統校として、普通科・芸術科併置校の特色を生かし、地域との協働による教育活動を通して、未来を切り拓き、より良い社会づくりに参画する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー

卒業までに身につけさせたい資質・能力は、「自分を認め、他者を理解し、深く考え、行動する。」力である。これを構成する具体的な資質・能力は、以下のとおりである。「自己肯定力」「協働力」「情操力」「分析力」「思考力」「創造力」「発信力」「行動力」(説明省略)。

カリキュラム・ポリシー

- ・ 幅広い学力や進路希望に対応できる教育課程を編成し、生徒一人一人の個性や能力を伸ばす。
- ・ 教育活動全体を通して、自己肯定感や人権感覚を涵養するとともに、他者を尊重し、物事に協力して臨む姿勢を育む。
- ・ 生徒自ら主体的に学び、考え、行動する活動を重視し、多様な経験を積み重ねることで人間的な成長を促す。
- ・ 社会の激しい変化に対応できるよう、課題を発見し探究する力を育むとともに、豊かな国際感覚を養い、社会貢献できる実践力を育む。
- ・ 芸術を愛好する心と自己の考え方に基づいた表現ができる能力を育む。

アドミッション・ポリシー

- ・ 校訓「克己」のもと、学校生活に意欲的に取り組み、自己の在り方生き方を深く考え、行動しようとする生徒。
- ・ 知的探究心を持ち主体的に学ぶとともに、特別活動等を通して人間性・社会性を高めようとする生徒(普通科)。
- ・ 芸術に対する深い興味、高い学習意欲があり、明確な目標を掲げて専門的な知識・技能を習得しようとする生徒(芸術科)。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

学校創立120年の歴史と伝統及び普通科・芸術科併置校の特色と実績を踏まえ、変化の激しい新たな時代において学校のさらなる魅力化を目指して、以下の取組について全校体制で推進する。

ア 主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。

イ 高い志を持ち、社会的自立に必要な資質・能力を身につけた生徒を育成する。

ウ 特別活動や部活動等を通して、心身ともに健康で人間性・社会性が豊かな生徒を育成する。

エ 芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛することができる生徒を育成する。

オ 地域の特徴や課題に対する理解を深め、探究的な態度で課題解決に取り組むことができる生徒を育成する。

様式第1号

- カ 異文化や多様性に対する理解を深め、グローバルな視点で考え行動することができる生徒を育成する。
- キ 安全・安心な学校づくりを目指して、教育環境、施設の点検や整備を確実に実施する。
- ク 教育活動の充実と教職員の多忙化解消のため、業務改善を着実に推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	主体的な学びを通して、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を有する生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学習態度の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・授業、家庭学習への取組 ・授業における言語活動 ・朝読書、ビブリオバトル ・「探求と表現」における課題研究とプレゼンテーション ○ 授業改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、校内研修の実施 ・ICT機器の活用促進 ・新学習指導要領に基づく教育課程の実施 ・観点別学習状況の評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生50%以上、2年生70%以上、3年生90%以上 ・「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒70%以上 ・授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員100% ・「朝読書が充実した」と回答する生徒80%以上 	教務課 進路課 研修情報課 図書課
イ	高い志を持ち、社会的自立に必要な資質・能力を身につけた生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立と社会規範の遵守 <ul style="list-style-type: none"> ・自己管理、自覚・責任ある行動 ・心身の健康保持 ・スマホの使用と情報リテラシー ○ 進路指導計画・シラバス <ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚、明確な目標 ・講習等の効果的な実施 ・「学びの基礎診断」、模擬試験のPDCAサイクルによる活用 ・進路情報の発信と活用 ・大学出張講義、社会人講演会等 ○ 保護者との連携、情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報発信、講演会等 ・PTA活動の計画及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒90%以上 ・「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒80%以上 ・「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒90%以上 ・進路目標が明確な1年生70%、2年生80%、3年生90% ・「進路行事が有意義だった」と回答する生徒65%以上 ・「生徒の成長を目指して、学校とPTAの連携が取れている」と回答する保護者70%以上 	保健管理課 生徒課 進路課 総務課
ウ	特別活動や部活動等を通して、心身ともに健康で人間性・社会性が豊かな生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西高生としての自覚と誇り <ul style="list-style-type: none"> ・集団帰属意識、良好な人間関係 ・自己肯定感の向上、愛校心 ・リーダーシップの育成 ○ 部活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な取組、上位大会進出 ・運営改善と再編等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒70%以上 ・県大会以上出場部活動15部以上 ・「興味を持って主体的に部活動に取り組んでいる」と回答する生徒80%以上 ・部活動再編に向けた検討を進める。 	生徒課 部活動委員会
エ	芸術に対する関心・理解を深め、生涯を通じて芸術に親しみ愛することができる生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・潮音祭における展示、発表等 ○ 芸術科の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な教育と校内外での活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全に配慮し、合唱コンクールや潮音祭をより充実したものとする。 ・各専攻が企画する演奏会や展 	生徒課 芸術科

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の積極的な実施 	<p>覧会、地域貢献活動等の目的や意義を理解し、「意欲的・主体的に取り組んだ」と回答する生徒90%以上</p>	
オ	<p>地域の特色や課題に対する理解を深め、探究的な態度で課題解決に取り組むことができる生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「イノベーション・ハイスクール」 ・探究、協働的な学習 ・地域資源、地域人材の活用 ○ 地域活動、地域への情報発信 ・生徒会、部活動による地域活動 ・学校HP、新聞等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究スキルが向上した」と回答する生徒80%以上 ・「ボランティア活動や地域の活動に参加したことがある」と回答する生徒70%以上 	<p>学年 生徒課 部活動</p>
カ	<p>異文化や多様性に対する理解を深め、グローバルな視点で考え行動することができる生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流の推進 ・オンラインによる交流 ・地域の定住外国人等との交流 ○ SDGs や時事問題への関心 ・新聞等の効果的な活用 ・授業、部活動等での取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流を通して異文化、多様性への理解関心が深まったと回答する生徒90%以上 ・「SDGsの目標を意識するようになった」と回答する生徒80%以上 	<p>学年 英語科 教科 部活動</p>
キ	<p>安全・安心な学校づくりを目指して、教育環境、施設の点検や整備を確実に実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「命を守る」 ・いじめ防止、いじめ対応 ・交通事故防止と防災力の向上 ○ 施設の点検及び整備 ・危険箇所の発見と迅速な対応 ・施設の定期点検と整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校はいじめ防止等を含め「安心安全な学校づくりを推進している」と回答する保護者80%以上 ・「防災避難訓練等により、防災に関する知識・技能が高まった」と回答する生徒75%以上 ・「登下校の際、交通ルールやマナーを守れている」と回答する生徒90%以上 ・定期的に施設点検を行い情報共有する。危険箇所については修繕の早期実現を目指す。 	<p>相談室 防災室 生徒課 事務部</p>
ク	<p>教育活動の充実と教職員の多忙化解消のため、業務改善を着実に推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動の「見直し」と充実 ・「やめる、減らす、見直す」 ・「選択と集中」 ○ 業務改善の推進 ・業務分担の適正化、組織的運営 ・定時退勤励行、時間外勤務削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・「担当業務において、内容の見直しを行った」と回答する教員90%以上 	<p>管理職</p>